

愛郷無限通信 No.3

100%の勇氣
110%みんなの
後押し

発行日 平成22年11月22日
発行 白田信夫後援会
発行責任者 飯島輝信

白田信夫後援会

住所 〒300-4407
桜川市真壁町古城261-1
TEL:0296-54-2123
FAX:0296-54-2124
ホームページ
<http://hakuta-nobuo.jp/>

携帯からも
ホームページを
ご覧頂けます

重鎮の政治家になる過
度期を迎えている白田
にとつて、一番働き易
い条件が整っている。
そのための行動力、熱
意も一向に衰えていな
い」と、断言する。

人。素顔



そこには、高く厚く
険しい壁が聳え立って
いた。それは「現職」
という壁だった。今か
ら16年前の出来事だ。
今は亡き古橋真之氏と
久野恒一氏の「現職」
に果敢に挑んだのが白
田氏だった。

今すぐ使える 副議長

「当時の選挙を振り
返ると、全く無名の新
人が地盤、カバンの中
に持ち込んだ大物政治
家に挑んだ構図だっ
た。同級生や知人など
は白田の「素朴な人間
性」を良く知っていた
ので、それを武器に
選挙戦を展開した。
それにしても、よく
18928票も取り、
トップ当選を果たした
ものだ」と、友は当時
を静かに述懐する。
以来、4期・16年に
わたり県政で活躍。こ
の間、政治家としての
「地歩」を固めつつ、
各常任委員会の委員長

（総務企画、環境商工、
保健福祉など）を歴任
。昨年12月には第103
代の県議会副議長の要
職に就いた。加えて、
県行政との「豊富な人
脈」は、幅広く県議の
中でも屈指だ。
友は続ける。「当初
のやや線の細さ、間口
の幅、喜怒哀楽など
は16年という歳月の中
で、政治の荒波にも
まれ、骨太で幅広く、
懐の深い政治家に脱
皮した。人間性も豊か
になり、丸みを帯び、
人の話をじっくり聞く
タイプとなった。この
一要因に結婚、そして
娘さんの誕生も起因し
ているのでは。今、郷
土・桜川市にとつて、
財政事情が厳しい中
で、なにより必要な
が「県政との太いパ
イプ」だ。これは、市
民誰でも理解してい
る。今まさに中堅から

●農業の活性化
●付加価値の高い農業で農家所得1000万円に

私は、県農業粗生産高の追
求よりも、各農家の所得向上
が重要だと認識しています。
いくら、生産量がアップして
も、農家の所得が増えなけれ
ば安心して農業に従事できま
せん。農家の所得がサラリー
マンより多ければ、後継者不
足や嫁不足の心配もいりませ
ん。「農家所得1000万円獲
得」を合言葉にがんばります。
そのためには、付加価値の高
い農業の追求が不可欠です。
紅ごだまスイカのブランド化
と販路拡大や規格外を活用し
た農産物加工場の建設を實行
します。
小中学校においては、地産

●教育
●人間性豊かな人づくり
●校舎の耐震化推進へ

子供は未来を担う
財産であります。その
ためには、勉強はもち
ろんですが思いやり
と道徳心、さらに協調
性など将来社会に出
て大切な「人間性豊か
な教育」の醸成が必要
です。加えて、国際性
や高度情報化に対応
できる人材の育成も
重要です。

また、個々の能力を
伸ばすためにも、先
生の目の届く「35人学
級」を実現し、学習環
境の整備促進を図り
ます。

一方、ハード面であ
る「校舎の耐震化」は
本県においては、全国
でも下位に位置しま
す。児童・生徒の生命、
財産を守る視点や災害



政策

●医療・高齢者福祉 月額4万円以内で特養ホーム入居を（みんなの願い）

今、高齢者の医療問
題が大きな課題となっ
ております。大切な
は、いうまでもありま
せんが、予防医療（減
塩運動や軽体操の普及
など）の実践ですが、
なかなか理想通りに行
かないのが現実です。
病などでの要介護者
が安心して入居できる
特別養護老人ホーム、
金銭的には国民年金の
平均である4万円以内
での入居を実現してい
くことに、全力を傾注
していきます。



●地場産業の振興 ●新技術の研究開発で石材の販路拡大へ

桜川市の代表的な地
場産業は、石材業です。
中国などからの輸入
石材に押される形で、
年々地場石材業は衰退
の一途をたどっており
ます。このため、私は
平成6年暮れの初県議
選以来、16年にわたり
PRを兼ねた石材振興
に取り組んで参りまし
た。その甲斐あって、
新県庁舎、大洗水族館、
茨城空港、鹿島サッ
カースタジアムなどに
利用されています。ま
た、茨城港（常陸那珂



生まれ育った地域に、感謝と熱い熱い思いをこめて、110%の後押し!

はくた信夫さんを応援します!



特別養護老人ホーム入所
藤田ふく子さん 88歳
●応援しております。



郡司元真壁高等学校長
●先生の故郷を愛する姿勢はすばらしい。頑張ってください。



介護士
杉山望さん 23歳
●若い力で応援します。



上野武雄さん 90歳
●4万円で入所できる福祉施設を!! (白田君ならできる)



稲葉資郎さん 81歳
大工
藤田昭一さん 45歳 古橋明さん 55歳
●応援しております。(ガンバレ白田)



石材業
川口貢一さん 50歳
●石材業の営業マンとして頑張ってください。



農業
酒寄嘉一さん 廣瀬記夫さん 廣瀬亢男さん
●農業者の願いを県政へ。



伝統工芸士会・技能士会(石材業)
岩淵久之さん 加藤幸彦さん 根本忠さん
●地元の代表として頑張ってください。



青年農業者
草間祐一さん 大塚智也さん 白田祐一さん 須藤紀明さん
●若い力で応援します。

茨城新聞掲載 (2010年11月16日火曜日)

現職県議の在任中、最後の議会となる県議会の第4回定例会が15日閉会した。西條昌良議長と白田信夫副議長に、さまざまな

議論が交わされた今定例会とともに今期の4年間を振り返ってもらった。

県議会を振り返って

白田信夫副議長

自殺者増 新たな課題

引張ってほしい。



今定例会では、初日に在職55年の山口武平議員をはじめ、西條議長ら同20年の5人、私長らを含む15年の6人が、年連続で全国3万人を超え、その中身も変わりが目立つ。深かった。この4年間では「自殺者増加」という新たな課題が。12月開通を控えるなど、交通ネットワークの整備が求められる。その一方で、本県は今年3月の茨城空港開港に加え、来春には北関東自動車道の全線開通を控えるなど、交通ネットワークの整備が求められる。その一方で、本県は今年3月の茨城空港開港に加え、来春には北関東自動車道の全線開通を控えるなど、交通ネットワークの整備が求められる。

～実行してきた主な軌跡～

産業の振興

桜川市のシンボルである、真壁大和のみかげ石、岩瀬の鎌目石等を茨城県庁舎、大洗水族館、常陸那珂港、茨城空港に利活用する等、地元の重要産業である石材業を振興しました。

災害復旧活動

平成11年の東海村JCO臨界事故で、災害復旧の先頭に立ち、地元の特産物(干しいも)を仲間とともに購入(900箱)し、安全をPRしました。

農業改革

桜川市の基幹産業である、農業者の所得向上、お米のブランド化等、いばらき農業改革の先頭に立ち、橋本知事とともに推進しました。

医療健康対策

救急医療体制の強化や、大田仁史先生とともにリハビリ体操を普及し、また、中学生に三級ホームヘルパーの取得する運動を広げました。

スポーツ振興

茨城県スポーツ振興審議会委員として、スポーツ活動を推進しました。

地域活性化

茨城県筑波西部地域特定中小企業集積活性化法(石材業振興)を法律化しました。



はくたのぶお 白田 信夫

昭和27年6月6日生 A型
自由民主党

昭和58年 8月	真壁町議会議員	初当選
平成 6年 12月	茨城県議会議員	初当選 現在4期
平成14年 4月	保健福祉委員会	委員長 就任
平成16年 1月	環境商工委員会	委員長 就任
平成19年 1月	監査委員	就任
12月	議会運営委員会	委員長 就任
平成20年 12月	総務企画委員会	委員長 就任
平成21年 12月	第103代 茨城県議会	副議長 就任

役職

- 茨城県建築士会 顧問
- 茨城県建設業協会 顧問
- 社会福祉法人 敬和会 理事 評議員
- 茨城県スポーツ振興審議会 委員
- 社会福祉法人 明康会 顧問
- 桜川市国際交流協会 副会長
- 桜川市真壁大和日中友好協会 顧問
- 桜川市商工会 顧問

私の盟友



小泉進次郎 衆議院議員



市原健一 つくば市長



山口伸樹 笠間市長



大田仁史 茨城県健康プラザ管理者

主な活動



まかべの街並み視察



茨城県身体障害者スポーツ大会



農業改革現地視察



李登輝



クリントン元大統領



茨城空港で高校生と共に



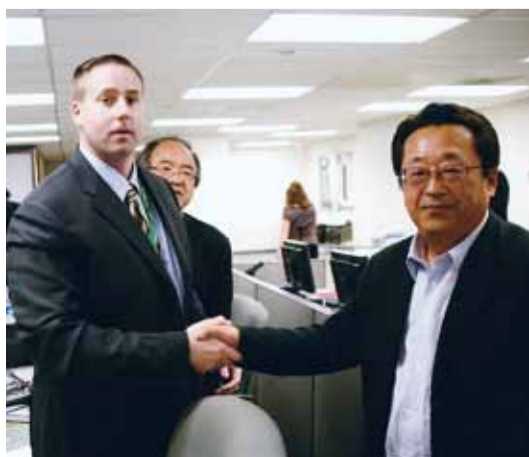
国際交流(ラオス高校生)



村上市視察



シアトル消防視察



ラスベガス警察視察